

L^AT_EX を使ったレポート作成

67120770 宮崎 イチロー

1 はじめに

実験したことはレポートに書いておこう．分かりやすく簡潔に書こう．どこまで「分かりやすく」書けばいいかというと，1 年前の自分が読んで理解できればよい．簡潔とは言うても，単に短いだけではだめで少なくとも

1. 何を実験したのか，一つ一つの手順．
2. 得られた結果（図）の説明（横軸，縦軸，プロットしている線，点の意味など）
3. 考察，自分の意見，感想

が必要．図を張り付けただけで説明がない場合，0 点をつけられても仕方がない．詳しい L^AT_EX の使い方については，Google で「latex，レポート作成」などと検索すれば親切なページが発見できる！教えてもらっていないなんていう人は…（⇒ 卒業できない．さようなら）．

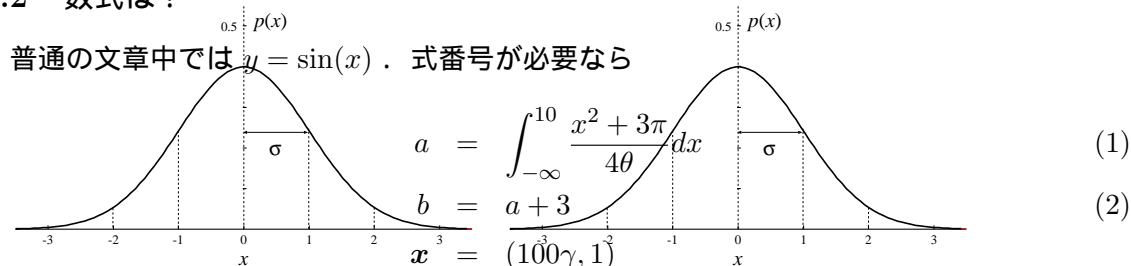
2 いろいろなことができる

2.1 図はどうするか

gnuplot など，図を作成した場合，画面に表示している図をそのまま取り込むのではなく，直接 eps ファイルを生成するようにしておく．

図 1: 平均 0，分散 1 の正規分布の確率密度関数

2.2 数式は？



参考文献

- [1] 甘利 俊一, “ニューロ多様体の情報幾何学,” 数理科学, no. 340, pp. 61–65, Oct, 1991.

付録

図 2: 1 つめの図

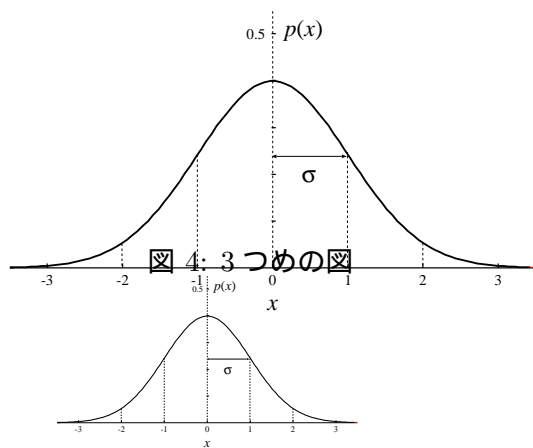


図 3: 2 つめの図

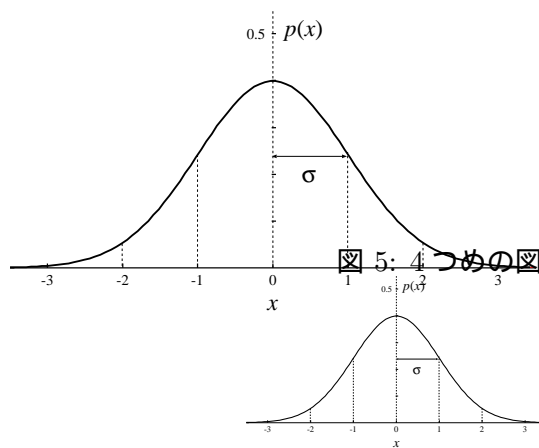
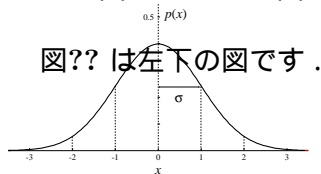


図 6: 5 つめの図



図?? は左下の図です .

$$\frac{dx}{dt} = -3x \quad (3)$$

$$\frac{dx}{dt} + 2x = 2t + 5 \quad (4)$$

$$x' + 2tx = 4t \quad (5)$$

$$x' = e^{-t^2} - 2tx \quad (6)$$

$$x' + x = e^{-t} \quad (7)$$

$$x' - (\sin t)x = \sin(2t) \quad (8)$$

$$x' + x = x^2 e^t \quad (9)$$

$$x' - tx = -x^3 e^{-t^2} \quad (10)$$

$$\tau \frac{dx}{dt} = -x + 1 \quad (11)$$

$$\tau \frac{dx}{dt} = -x + \cos t \quad (12)$$

$$\int_1^x \frac{1}{x} dx = -3 \int_0^t dt \quad (13)$$

$$\dot{\boldsymbol{x}} = A\boldsymbol{x} \quad (14)$$

$$e^A = \sum_{k=0}^{\infty} \frac{A^k}{k!} \quad (15)$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \end{pmatrix} \quad (16)$$

$$\begin{bmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 2 & 1 & 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} x \\ y \\ z \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix} \quad (17)$$

$$A\boldsymbol{x} = \boldsymbol{y} \quad (18)$$

$$x_i = f(\sum_{j=1}^n w_{ij}x_j) \quad (19)$$